

館主だより

ギャラリー稲童館主 植田 義浩

ギャラリーのテラスから眺める上庄ヶ
迫池に風が渡り、水面には漣の面と静かな
面とがくっきりと分かれて見えます。5年
前に植えた時には鉛筆ほどだった柳が大
きく育ち、池に向かって揺れている様子
が何とも言えない風情を醸し出しています。



濃い緑のなか、池に張り出した合歓の木に薄いピンクの花が咲き、柳と呼び交わしているようです。今年植えた花芙蓉も、どうやら根が付いたようで、来年には大きな花が池に影を映してくれるでしょう。

厳しい暑さの到来です。皆様にはくれぐれも健康にご留意ください。この夏ギャラリー稲童は開館8年目を迎えます。皆様に支えられて、どうやらこうやらここまで来ました。2年後には開館10周年を迎えます。中弛みしないように気合を入れて、講演会などの取り組みをいたします。

さて、この一年を振り返ってみますと、実にさまざまなことが起きています。

まず、昨年7月中旬に「美術館は秘密基地・画家原田脩と仲間たち」のドキュメントが午後の「スタジオパークからこんにちは」で全国番組として再放送されました。さらにNHK国際放送でも放映され、それを見た方がアメリカからわざわざ見に来て下さいました。



中旬には、坂田明さんと仲間たちのグループ「梵人譚」が行橋を訪れ、素晴らしいジャズを演奏してくれました。坂田さんの訪問を機に、常設作品を入れ替えました。「脩の月」と名付けて、月のある風景を選び展示しました。

夏休みには行橋市の学童保育の子供たち120人がギャラリーを訪れ、隣接する畑の粘土を掘り出し、オブジェ作成に取り組みました。子供たちを指導してくれたのは崇城大学の勝野先生と彫刻科の学生諸君、それにギャラリーメンバーの梶さんと新納さんです。出来上がった作品はギャラリーの畑で野焼きをして、完成作品を市内のショッピングセンターに展示しました。子供たちの自由な造形感覚で出来上がった作品に目を奪われました。

秋は恒例の月見会。40人を超す仲間たちが集まって、館内では「脩の月」を、テラスでは中秋の名月を楽しみました。原田脩にはやはり月が似合います。

月見が終わったころ宮崎県高鍋町の彫刻家、田中等さんが作品を軽トラに乗せてギャラリーにやってきました。黒御影石で作った素敵な作品です。作家の希望で、池のほとり、船着き場の小さな石畳の上に設置しました。池を渡る風を受けて、作品がまるで飛翔しているようです。

正月は恒例の新年会。がめ煮（筑前炊き）と豚しゃぶとで大いに盛り上がりました。新年句会の予定が新年飲み会に変わってしまいました。これではいけないと一念発起し、翌週は農業班と一緒にヒノキの伐採に挑みました。ギャラリーにほど近いヒノキ林の持ち主が、ヒノキを提供してくれたのです。このヒノキは茶室（茶小屋といった方が当たっているかな）に使います。金丸さんが土台を作ってくれていますので、このヒノキを使って骨組みを作る予定です。チェーンソーと山仕事用の鉈が大いに役立ちました。

2月には海外の彫刻家を含め、6人もの作家さんたちがギャラリーにやってきました。行橋市内に滞在して石の彫刻を作成する「行橋オブジェプロジェクト」のメンバーたちです。ベラルーシ、ブルガリア、イタリア、イギリス、それに北海道と宮崎の作家さんたちです。イタリアの女性彫刻家アントネラさんはアトリエ棟のピザ窯を見て大喜びし、さっそく本場のピザを焼いてくれました。ギャラリーの裏山にこのメンバーの作品を置けば、彫刻ロードができるのではないかなと空想しています。



春になって、ギャラリーの協力館が北九州市小倉区の繁華街の端っこに誕生しました。名付けて「スペース216（にいろ）」。メンバーの新納君が原田脩作品常設の画廊を立ち上げたのです。これで北九州方面の皆様が気軽に原田脩の作品を鑑賞することができるようになりました。しかも、保健所の



許可を取って、喫茶店営業ができるように設えたのです。若い作家のみなさんがこのスペースを利用して作品を発表してくれることを期待しています。ぜひ一度足を運んでみてください。美味しいコーヒーが待っています。

常設展示は6月に11回目の入れ替えとなりました。本来ならば、3月の朧月忌に入れ替えなければならないところですが、「スペース216」の誕生などで延び延びになってしまいました。今回の展示は、みんなで知恵を出し合って「ギャラリーメンバーがお奨めする原田脩の作品」としました。自分の最も気に入った作品、来館される皆様にお勧めする作品を選んでもらいました。どのメンバーがどんな作品を選んだか、見に来てください。

来年度はこの一年に負けないように積極的に動いてみたいと考えています。この秋にはどなたか、アートに詳しい講師の方をお招きしての講演会を計画していますし、来年5月には世界的なマエストロ「佐渡裕」さんをギャラリーにお迎えできる予定です。今のところ、坂田明さんと佐渡裕さんのトークセッション「素敵な音楽をギャラリー稲童へ」（仮題）を予定しています。ご支援いただいている皆様に向けてこれから準備がかかります、ご期待ください。

今年度もご支援くださいますよう、お願い申し上げます。